



目指せ！魅力ある直売所



直売所の店員や農家などの生産者を対象に「魅力ある直売所づくりセミナー」がふれあい倉庫で行われました。同セミナーは(公財)北海道市町村振興協会の助成で行われ、講師のJanis Promptジャニス プロンプト代表の佐山さつきさんは、「効果的なPOP(店頭商品に貼り出す広告)には、文字の大きさのメリハリと余白が大切」とすぐに使える手法や文字の手書きテクニックなどを参加者に伝えました。(7月5日)

熱狂！チャリティープロレス



アジアプロレスリング主催のチャリティープロレスが白樺コミセンで開かれ子どもからご年配まで多くの方が観戦を楽しみました。試合前には同団体ひろあき中浩旭代表から「町の地域福祉事業に役立てください」と当別町社会福祉協議会泉亭俊徳会長に寄附金が贈呈されました。試合は、シングルマッチや8人タッグマッチなど選手10人で6試合が行われ、鍛えられた肉体を武器に「ブレンバスター」「パイルドライバー」などの大技を繰り出し、大きな衝撃音が会場に響いていました。

(7月3日)

留学生とスポーツ交流



ワールドコースジャパンとうべつプログラム実行委員会が主催する「国際交流事業」で、アメリカから留学生11人が、7月13日から17日まで来町しました。16日にはホストファミリーや関係者も白樺コミセンに集まり、フライングディスク・ポッチャ・スポーツ吹矢で親睦を深めました。スポーツ吹矢の的の中心を矢で射ることができた留学生は、「吹矢は忍者になった気分になれて面白い！幼いころから忍者に興味があつて忍術の本も読んだことがある」とうれしそうにお話してくれました。(7月16日)

広告

広告

広告

広告

園の夏の風物詩 夕涼み会



認定こども園当別夢の国幼稚園で、夕涼み会が行われました。この日は朝から年長組の体験活動が目白押しで、「お花の会」では持ち寄ったお花を各園児がとても見事に生けました。その後は、園児たちが前日にお店で吟味して買ってきた食材を包丁で切って調理したカレーをみんなで食べたり…。夕暮れ時には参加できる3歳児・4歳児も再登園し、くまちゃん音頭、子供盆踊り、打ち上げ花火で



夏の思い出をみんなで作りました。
(7月19日)

自転車で小麦づくしツアー



さっぽろサイクルラボ主催・町観光協会協力によるピクニックライド(自転車観光ツアー)が西当別地区で開催されました。当日はサイクルガイド同行のもと、JR石狩太美駅をスタートにスウェーデンヒルズや北欧の風道の駅とうべつなど約23キロの行程をツーリング。途中、小麦圃場見学や昼食にパスタやパン、道の駅では小麦製品の買い物など小麦をテーマとしたスポットに多数立ち寄りしました。参加者は当別の景観を満喫しながら、軽快に自転車を進めるとともに、当別町の食も堪能していました。
(7月21日)



広告

広告

広告

広告